

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	福本 信太郎
主な担当科目	合奏Ⅰ①/Ⅲ① Sx,合奏Ⅰ①②③④/Ⅲ①②③④/合奏特別演習①②(火曜3限)(吹奏楽),合奏Ⅰ①②③④/Ⅲ①②③④/合奏特別演習①②(火曜4限)(吹奏楽),合奏Ⅰ①②③④/Ⅲ①②③④/合奏特別演習①②(金曜4限)(吹奏楽),合奏Ⅰ①②③④/Ⅲ①②③④/合奏特別演習①②(金曜5限)(吹奏楽),吹奏楽概論Ⅰ,吹奏楽概論Ⅱ
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	今年の4年生は高校3年生の時に新型コロナウイルスの影響を直接受けて、高校生活最後の1年は様々な制約や行事の中止を経験してきた学生たちである。せめて大学生生活最後の年には、演奏の楽しみや聴いてもらう喜びを感じてもらえるよう自身の成長が実感できるような教育に注力し、学生たちの演奏活動のサポートをしていきたい。
2024年の教育に関する自己評価	レッスンにおいて、また合奏などの授業、そして1年間に行われた数多くのステージの中で、学生たちの沢山の笑顔と満足度の高いコメントを聞くことができた。時に個々に寄り添い、時に全体を鼓舞して学生たちと共に音楽を作り上げることができたと思う。いくつかの授業においてはシラバス通りに展開できなかった部分があり、セメスター制が始まる次年度に向けて教育内容もブラッシュアップしていきたい。
2024年のFD活動に関する自己評価	前年度に比べて所属する委員会などの数が減り、会議などに割かれる時間が大幅に削減されたおかげで、余裕を持って能動的にFD活動に参加することができたように思う。様々なFDに参加することで得ることができた知識を実践に活かすことができた面もあり、その反面知識が記憶として残らない面もあった。過去のFDを議事録のように確認する(思い出す)機会があると良いかとも思う。
授業改善のために取り入れた研修内容	門下生に要配慮の学生がいましたが、事前に様々な背景を持つ学生への対応や種々の意見を伺っていたので、その学生と良い関係を保ちながら教育活動を進めることができた。またその学生と他の学生とのコミュニケーションの取り方についても双方と程よい距離感で接することができたように思う。これらの知識や精神をFDで知っておくことができた事は大きな支えになった。

2023 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:870 教員名:福本信太郎

1)アンケート結果に対する所見

楽器を使いながら、人と合わせる(アンサンブル)力を向上させるために行われる本授業であるが、9割以上の学生が積極的・能動的に参加し、成果を上げていることが伺える。

どの設問にも約1名の消極的回答があるが、教員側のアプローチに対してのマイナス回答はゼロであることから、学生全員のやる気を引き出すような授業には至らなかったという結果であると考えられる。

2)要望への対応・改善方策

学生からの要望は特になく、授業への好意的意見が全体を占めている。

3)今後の課題

初年度の授業であり、4月に初めて顔を合わせた仲間たちと直ぐに楽器でアンサンブルするという授業形態のため、人見知りや消極的な性格の学生には少しハードルが高い授業である可能性がある。

3コマの授業の中で、それぞれ違うアプローチをしながら授業が進められていくが、向上を目指す部分と学生の能動的な参加を促す部分との両面に配慮しながら進めていくことを今後の課題としたい。特に前期最初の数回は後者について重点を置き、スムーズな友人関係を促すことでアンサンブルのコミュニケーション力を高めることを訴求していきたい。

以 上